委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	第９回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成２０年８月２８日（木）　９：４０～１２：５５
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ「研修室１」
出 席 者	委員１３名、事務局５名

協　　議　　内　　容

開会にあたり竹備委員長から去る２６日、マイドームおおさかに於て行われた、近畿トラック協会・燃料高騰経営危機突破総決起大会の参加協力お礼とマスコミの取上げ方についての感想及び去る１１日に開催された「トラックの日」の事業実行委員会支部長・担当役員会議で依頼のあった、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」の参加費一部負担について、一般会計から５０万円の支出を考えていることを含めてあいさつがあった後、引続いて、岡田副委員長議事進行により協議に入った。

（１）平成２０年度事業計画策定について

岡田副委員長から「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」活動について現在の各支部の状況について報告を求めた。

概ね次の報告があった。

〔大津支部〕

- 下見は何回か行っている。
- 計画案については、トラックの配置場所、トラックの拠出会社、班、トイレの確保、危険箇所等、又、各班の拠点となる場所はコンビニが７割と公園等、おおよそ１㎞単位を目安に班分けをしている。
- 参加人数の把握はまだである。

〔湖南支部〕

- 参加人数の把握はまだである。
- 去る２６日夕方に役員会を開き、班長を決め、隣組組織を活用して一社ずつ廻り参加要請を行うことを決めた。９／８締切り後の参加申込み状況を見て動いて行く。
- 下見を行い写真も撮り、１３ブロック（１ブロック２．６㎞平均)、１ブロック２０名で活動する。

・　当日は各ブロック長と携帯電話でやり取りを行う。
・　ゴミは下見をした際も少なかったので、車のトランクに入れてトラック協会に持って行く。
・　集合はトラック協会、セレモニーに参加、ゴミ拾い、終了時もトラック協会に集まるという流れで行う。
・　参加費は弁当代として終了後、トラック協会で渡す。

〔甲賀支部〕
・　去る２０日に三役会を行い参加動員について検討した。
・　９／４に緊急の役員会を行い具体的に参加動員割当て等詳細を検討、それを受け下見を行う。
・　１０ブロックで１ブロック３㎞程度の割当てを考えている。

〔湖東支部〕
・　１２班に分けて、当日持ち場に行ってもらう。
・　１班１８名で、２．７～２．８㎞を担当する。
・　トイレはコンビニを借りる。
・　セレモニーは、コースの中心地となる緑地公園で行う。
　　８：３０　集合
　　８：４５　セレモニー
　　９：１５　移動
　　９：３０　スタート
・　先日下見を行ったがゴミはあまり見えなかったが、植え込みにあるかもしれないので、車両は、軽トラ２台と２ｔ車１台を予定している。

〔彦根支部〕
・　下見を行ったがゴミはほとんどなかった。
　再度下見を行い写真も撮り活動をしやすいように又わかりやすいようにしていく。
・　支部の定例会の度に参加依頼を行っているが、明日役員会を開催し詳細を検討していく。今のところ参加人数はわからない。
・　各班のスタートポイントをわかりやすくしたい。
・　セレモニーは当支部の受持ち地域の中心となる長浜市の豊公園で行う予定をしている。
・　弁当代として参加費２０００円を考えている。

〔湖北支部〕

・　去る２０日に役員会を開催し、詳細報告と動員について検討を行った。
・　下見は９／７に行う予定。下見を行い５つあるトンネルの対応等も考えていきたい。
・　コースの中間点でセレモニーを行うつもりをしているが具体的な場所は検討中。

〔湖西支部〕

・　２０名の動員はクリア出来る。
・　下見は今週中に行い、定例会で詳細を決めていく。

続いて、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ事業」の坂口班長から次により報告・説明及び提案があった。

・　昨日、会員宛に案内文章（協力依頼文章）を発送した。

・　保険の関係や確定した参加者数の把握の意味もあり申込書を記名式で９／８迄に各支部宛ＦＡＸ、おおよその人数を把握するために９／１０で第一回目の報告を各支部から願いたい。

・　１０月５日に雨天でも実施するが、台風等荒天の場合は１２日に順延することについて、地域によって強く雨が降っていることや雨が降っていない場合もあるがこの判断の問題

・　この活動は１０００人規模で行うのでセレモニーについては多くの参加者に出席してもらいたい。

・　連帯感を持たせるためにも竹備会長が協会パトカーに乗り参加者に「ご苦労さん」の一言を言って廻って欲しい。

・　のぼり旗の文字はどうするのか？

・　帽子は既製品で購入するのか、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」と小さく文字を入れるかの確認

・　調べたところ市でゴミを処分する場合は市によっては結構手間がかかるので、協会に産廃用コンテナを置きそこにリサイクルに回す以外のゴミを入れてはどうか？

・　参加者が近江大橋や琵琶湖大橋を渡ったり有料駐車場に車を置いた場合の料金の問題

・　各支部で出される参加費の統一化の問題

これらを受けて、岡田副委員長から意見を求めたところ次のことが決定された。

・　荒天により延期する時の判断について

・・・検討されたところ、警報が出れば延期することを基本とすることとなり連絡網を作り次回の実行委員会に提案することとなった。

連絡網の例として次の意見があった。

・　例えば７時等時間を決めて実行委員長が活動を行うかどうかの判断をし、事務局から各支部長に連絡、支部長は各班長に連絡、各班長が参加者に連絡するという流れはどうか。

また、確認の意味を含めて本日の実行委員会で変更になった事項を整理し各支部長にペーパーを提出することとなった。
例えば、もし各市でゴミを処理せずに全支部がゴミを協会に持ってくる場合、ゴミは産廃扱いとなるので、ゴミの分別は、アルミ缶とペットボトル、その他のゴミの３つとする。立替え払いやトラックの拠出料の問題等

・　参加費の問題について

・・・概ねの支部は出来れば参加者に２０００円を弁当代として拠出したいとのことから検討されたところ、又、特に協会からは参加者１名に付き１０００円を出して欲しいと出席者の強力な要請もあり、支部から１０００円、協会から１０００円、合計２０００円を活動終了後に渡すこととなった。但し、渡す対象は小学生以上の人とする。

・　各大橋代や有料駐車場の料金について

・・・検討されたところ、参加者がレシートを持って来られたら、各支部でその金額を立替え払いで渡す。後日、支部は協会に請求することとなった。

・　参加者に渡すペットボトルのお茶について

・・・ペットボトルのお茶を買う店によって金額がバラバラになるため、協会で一括購入し事前に実行委員に渡すこととなった。

・　拾ったゴミの収集のために使用するトラック拠出料金について

・・・検討されたところ、車両を何台使用しても 2ｔ車４時間制運賃の１７０００円を各支部に支払うこととなった。

・　当日併せて行う「湖国安全・安心まちづくり運動」について

・・・検討されたところ、当日、参加者に書いてもらえるように「安全情報記録票」を協会で準備することとなった（おおむね各支部 100 枚程度)。

・　リサイクルしない一般ゴミの処分について

・・・検討されたところ、各支部で担当となる市に打合せを行ったり、市によっては手間もかかることから、ゴミを各市の処理場に持って行かず、協会の駐車場に８m3 のコンテナを１台設置することとなり、当日もしくは後日この中に入れることとなった。

・　各班長が持つ、のぼり旗について

・・・資料１－９に基づき検討されたところ、第３案で作成することとなり、旗の色や文字の色については坂口班長に一任することとなった。

・　参加者がかぶる帽子について

・・・文字を入れるか、入れないか確認を行ったところ、文字は入れず既製品を使用することとなった。

・　産廃等が道に落ちていた場合について

・・・資料 1－１１にそれぞれの道路管理者の連絡先が記載されているが、当日は相手先が休みのため翌日に連絡することとなった。

・　竹備会長が協会パトカーに乗り参加者に「ご苦労さん」の一言を言う件について

・・・検討されたところ、この案で進めることとなり、時間的なこともあるので、協会～近江八幡方面～彦根・長浜方面～高島～旧志賀町～琵琶湖大橋～協会のルートが考えられるが、最終的にはメイン事業班に一任することとなった。

・　その他、活動の記録写真撮影については、各支部で写真班を設置して行ってはどうか、又、「物流セミナー」での事業報告についても、セミナー会場に活動の写真パネルを置いてはどうか、との意見が出、特に「物流セミナー」は企業振興委員会の担当であるので一度委員会で検討してもらい、次回の実行委員会での検討事項とすることとなった。

引続いて、「広報事業」の伊地智班長から次により報告があった。

・　明日２９日に県庁の記者クラブで新聞・テレビ・ラジオ等のマスコミに対し、「トラックの日」及び「トラックの日」の各事業についてプレス発表を行う。

・　その他、県庁の関係部・課や、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」活動の共催となるスポレク滋賀の事務局、副知事にも会い協力を依頼していく。

・　再度、びわ湖放送に赴き、「エコ・セーフティドライブコンテスト」や「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動（協会や支部でのセレモニーも含めて）」の取材依頼を行う。

続いて、「エコ・セーフティドライブコンテスト事業」の中西班長から手渡し資料及び資料２－１、２－２により報告があった。

・　現在の参加申込み状況説明

・　当日スタッフの協力要請

・　ゴールドマイスター・マイスターの認定書、ゴールドマイスターを出した事業所に対する表彰状の文章説明

・　開会式の次第説明

・　予算書説明

・　認定ステッカー説明

岡田副委員長より出席者に対し意見を求め検討されたところ次のことが決定した。

・　参加者が少ないのは、初めてのコンテストであり詳細がよくわからないのではないか、事前講習会を開催してはどうか、事前講習会を行っても全ての申込者が受けられないと不公平となるので行わない方が良い、等の意見もあったが、参加動員について次により各支部割当てを行い、参加申込者には当初の予定どおり要綱を送ることで進めることとなった。

各支部参加割当数（現在の申込者を含む数）

大津支部	６名	（４ｔ３名・１１ｔ３名）
湖南	１２名	（〃６名・〃６名）
甲賀	１０名	（〃５名・〃５名）
湖東	８名	（〃４名・〃４名）
彦根	６名	（〃３名・〃３名）
湖北	６名	（〃３名・〃３名）
湖西	２名	（〃１名・〃１名）
合計	５０名	（４ｔ25名・１１ｔ25名）

・　開会式に後援をもらっている、滋賀県、滋賀労働局、滋賀運輸支局に来賓として出席要請を行うこととなった。

・　認定ステッカーについては資料３枚目の案で進めることとなり、色目等詳細変更については日程もないのでエコ・セーフティドライブコンテスト事業班に一任することとなった。

・　各ディーラーには車両依頼等は行っているが、詳細について９／４（木）１０時から協会で打合せを行うこととなった。

■次回委員会

日　時　　平成２０年９月１２日（金）１５時３０分～１７時３０分頃迄

場　所　　滋賀県トラック総合会館

※予定として次々回委員会日程を下記のとおりとする。

日　時　　平成２０年９月２９日（月）１３時３０分～１５時３０分頃迄

場　所　　滋賀県トラック総合会館